

ツキノワグマ出没防止対策事業

～ 誘引物となる不要果樹の伐採等を推進 ～

ドングリ等の堅果類が凶作だった昨年度以降、ツキノワグマ（以下「クマ」という。）の目撃件数が増加しており、5月25日には但東町でクマによる人身事故が発生するなどクマ出没への対策が急務となっている。

緊急対策として、収穫予定がなく集落内に放置されている柿や栗等の果樹がクマを誘引する要因となっていることから、不要果樹の伐採等を行い、クマを集落に寄せ付けない取り組みを進める。

1 【緊急対策】不要果樹の緊急伐採

(1) 内容

不要果樹の伐採やトタン巻き、バッファゾーン（緩衝帯）の刈払いなどを実施

(2) 場所（想定）

人身事故のあった地域や出没の危険性が高い地域

(3) 本数

約400本 ※林業事業者、シルバー人材センター、ボランティア等に伐採等を依頼



(4) 事業費

3,000千円

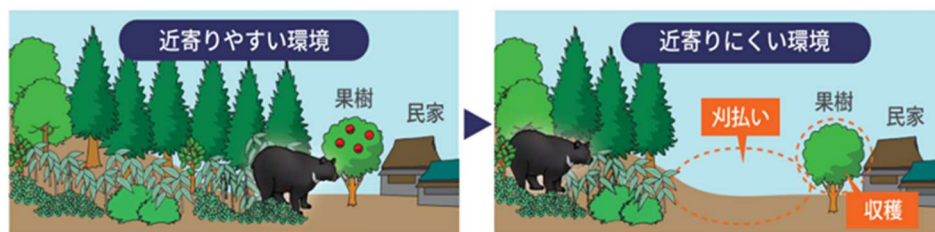
《財源内訳》

県支出金	2,250千円（ツキノワグマ管理総合対策事業費補助金3/4）
一般財源	750千円

2 その他参考事項

クマを寄せ付けないために（豊岡市ホームページより）

- ①見通しの悪い場所の草刈りを行い、クマが侵入しにくい環境を作りましょう。
- ②庭先の柿や栗の実を早めに収穫する、幹にトタンを巻く、不要な果樹を伐採するなどクマを寄せ付けない環境を作りましょう。



(出典：兵庫県森林動物研究センターパンフレットより)

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生部農林水産課 TEL0796-23-1127(直通)